



平成18年1月編集・発行
平成21年1月改訂
平成24年9月改訂
令和 8年3月改訂
仙台市こども若者局
幼稚園・保育部 運営支援課



保育者からの
メッセージ



「イヤイヤ」「ダメ」「じぶんで」
「ひとりで」は、一つの成長のあらわれです。

こどもなりの精一杯の自己主張を受けとめながら、自我が芽生える大切な時期を乗り切っていきましょう。

こんなことは あいませんか？



何でも「イヤ」と言っただけで、困ってしまう事はありませんか？

どうしてするの？

自分の気持ちや考えが出てくると、「やってみたい！」「自分で決めたい」という気持ちが強くなります。



でも、「自分はこうしたいんだ」という気持ちがあっても、その気持ちを言葉で伝えたり、まだまだ上手くできないことがたくさんあります。

どうしたらいいの？

- 「〇〇したかったの？」などと優しく言葉をかけて気持ちに寄り添い、共感したり、言葉を代弁してあげましょう。「自分の気持ちが分かってくれた」と、安心できるようです。
- 「△△と□□と、どっちがいい？」など、選択肢を提示し、自分で決めるチャンスをあげてみましょう。
- 好きなキャラクターやおもちゃ、窓を開けて風を感じるなど、別のものに興味を逸らしてみましょ。ちょっと気分が変わると、イヤイヤが収まることもあります。
- 怪我につながる危険なこと、相手が嫌な気持ちになったり迷惑になるようなことには毅然とした態度で、淡々と諭すような口調や表情でやめるように伝えましょ。
- 上手に気持ちを伝える方法がわからなくて、「イヤ」と言ったり、泣くという方法で表現しています。「〇〇したいって言ってね」などどうしたら良いかを具体的な言葉で知らせてあげましょ。

こどもによって、また、日によって、イヤイヤポイントも違います。おうちの方も毎回「こうやってみたら、上手くいくかな」とあの手この手と工夫しながら対応していると思います。ずっと続くことはなく、いつかは終わりが来るものです。家族で対応を交代したり、子育て支援センターなどに遊びに行って、気分転換をしながら、こどもの「できた」に付き合っていけるといいですね。